

Meiji
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2015年6月30日

明治学院大学国際平和研究所(PRIME) 後援

モザンビークから農民リーダーがやってくる！

「土地を生かし、農業に生きる～UNAC（全国農民連合）の取り組み」

7月8日（水）開催 ※逐次通訳あり

明治学院大学国際平和研究所は、講演会「モザンビークから農民リーダーがやってくる！『土地を生かし、農業に生きる～UNAC（全国農民連合）の取り組み』」を7月8日に開催します。

モザンビークでは、農民たちが植民地支配からの独立運動を経て独立を達成し、土地を耕し、懸命に食料を生産してきました。しかし、近年、農業投資による土地収奪(ランドGrab)が、深刻な影響を及ぼしています。この講演会では、モザンビーク最大の農民組織 UNAC(全国農民連合)を代表する3名をお招きし、モザンビークにおける土地と農業、そして私たち日本の援助や食、農業のあり方について、来場者とともに考えます。

ぜひ事前告知ならびに当日取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いたします。

- 日 時： 2015年7月8日(水) 18:00～20:30 (開場 17:30)
- 場 所： 明治学院大学 白金キャンパス 3号館1階 3202教室 (東京都港区白金台1-2-37)
- スピーカー： **アナ・パウラ・タウカレ (Ana Paula Taucale)**
UNAC(全国農民連合)副代表。ナンブーラ州の農民。全国2,200の農民組織が加盟するUNACの副代表として、農民の権利擁護とネットワークづくりに尽力している。
- コスタ・エステバオ (Costa Estevao)**
UNACナンブーラ州支部UPC-N代表。ナンブーラ州の農民。多様な作物を栽培する篤農家であり、州の農民運動のリーダーとして、2万人のメンバーから厚い信頼を得ている。
- ヴィセンテ・アドリアーノ (Vicente Adriano)**
UNAC政策提言・国際連携担当。モザンビーク西部・テテ州出身(テテ州は炭鉱開発による強制移住や公害が問題となっている)。現職では、UNACと南部アフリカ開発共同体(SADC)、アフリカ、ラテン・アメリカ、アジア地域の農民運動との連帯に尽力。農民の声を世界に発信している。
- 申 込 み： 事前にお電話でお申込みください。(特活)アフリカ日本協議会(AJF) Tel 03-3834-6902
- 定員： 100名(先着順)
- 参 加 費： 資料代 500円 (学生は無料。学生証の提示が必要です。)
- 共 催： (特活)オックスファム・ジャパン、(特活)アフリカ日本協議会(AJF)、No! to Land Grab, Japan、(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)、ATTAC Japan、モザンビーク開発を考える市民の会
- 後 援： 明治学院大学国際平和研究所(PRIME)
- お問合せ： 明治学院大学国際平和研究所(PRIME) Tel: 03-5421-5652 Email: prime@prime.meijigakuin.ac.jp

取材のお問い合わせは… **明治学院大学 総合企画室広報課** 担当: 田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp